

相模原商工会議所 景気観測調査結果 (令和6年4月～6月)

円安が長引き、製造業、建設業と小売業・卸売業ではコスト高と価格転嫁が課題となっています。建設業と飲食業・サービス業は比較的景況が安定していますが、人手不足が深刻です。次期は全体的に回復に向かう見込みです。



ポイント

- ▶ 令和6年4月～6月期の総合業況DIは▲19と、前期▲23から若干の改善であった。前期低調だった小売業・卸売業（前期▲37・今期▲23）は改善に向かう。建設業（前期▲13・今期▲12）は安定、飲食業・サービス業（前期▲18・今期▲17）、製造業（前期▲29・今期▲26）はほぼ前期並みであった。
- ▶ 寄せられたコメントによると、前期から引き続き、製造業、建設業、小売業・卸売業では円安によるコスト高と価格転嫁の困難さ、飲食業・サービス業で人手不足と賃上げを課題に挙げる声が多数である。一部で2024年問題とそれに関連したコスト上昇の問題を挙げる事業者が出ている。
- ▶ 次期見通しについては、総合業況DIは▲16と、今期▲19から3ポイントの改善の見込み。飲食業・サービス業（今期▲17・次期▲12）と小売業・卸売業（今期▲23・次期▲20）はやや改善の見込み。今期厳しかった製造業（今期▲26・次期▲19）も改善の予想である。今期比較的好調だった建設業（今期▲12・次期▲16）は若干の悪化の予想である。



各業界から寄せられたコメント

【スティックシュガー、健康食品の充填、包装】

健康食品への風評被害、円安による原材料の高騰、従業員（パート）が不足。

【給排水衛生設備工事、空調換気設備工事】

公共工事は微増傾向である。

【オーダーカーテン、じゅうたん、インテリア小物】

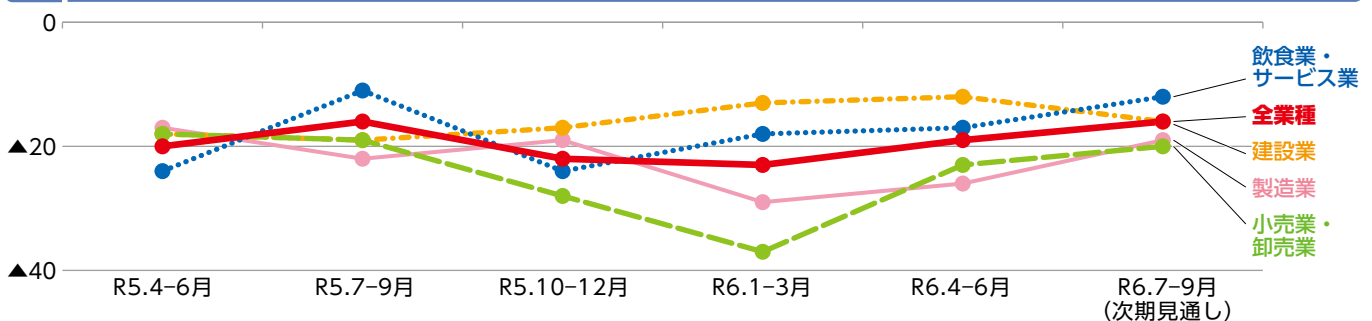
商店街が機能しなくなり、店の周辺は人が歩いていない。

【一般貨物、重機・重量物輸送事業】

2024年問題による売上額減少と、仕入れ額高騰が厳しい（燃料・部品など）。



業況別（総合判断）DI値の推移



	前年同期概況 (R5.4-6)	前々々期概況 (R5.7-9)	前々期概況 (R5.10-12)	前期概況 (R6.1-3)	今期概況 (R6.4-6)	次期見通し (R6.7-9)
製 造 業	▲ 17	▲ 22	▲ 19	▲ 29	▲ 26	▲ 19
建 設 業	▲ 18	▲ 19	▲ 17	▲ 13	▲ 12	▲ 16
小 売 業 卸 売 業	▲ 18	▲ 19	▲ 28	▲ 37	▲ 23	▲ 20
飲 食 業 サ ー ビ ス 業	▲ 24	▲ 11	▲ 24	▲ 18	▲ 17	▲ 12
全 業 種 (総 合)	▲ 20	▲ 16	▲ 22	▲ 23	▲ 19	▲ 16

業況天気図 凡 例	快 晴 DI値 31以上	晴 れ DI値 30～11	薄曇り DI値 10～▲10	小 雨 DI値 ▲11～▲30	雨 DI値 ▲31以上
--------------	---------------------	----------------------	-----------------------	------------------------	--------------------

<<景気観測調査>>
前年度同時期との景況を比較し、「良い／悪い」などの指標を数値化し景気動向を調査。
「良い」の回答数の割合から「悪い」の回答数の割合を引いて算出した数値（DI値）を用いる。

調査期間：令和6年4月1日～6月30日

回答率：23.8% 回答者数：877件

調査対象：当所会員事業所3,682事業所

中小企業診断士による分析結果およびご活用いただける支援策等をまとめた詳細データは、当所ホームページに掲載しております。

<https://www.sagamihara-cci.or.jp/services/jouhou/keiki>

データの郵送をご希望される方は、総務課（☎042-753-8131）までご連絡をお願いいたします。

